



フォーバル、北海道当別町と 「持続可能なまちづくりに関する連携協定」を締結 ～地域企業支援・人材育成を通じた地域共創モデルの構築に向け共同宣言を発表～

株式会社フォーバル（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：中島 将典、以下「フォーバル」）は、北海道当別町（町長：後藤 正洋、以下「当別町」）と、2026年10月10日（土）に開催された地域共創フォーラム「当別Mirai Fes 特別セッション『まちの未来を診て、育てる』」において、「持続可能なまちづくりに関する連携協定」を締結するとともに、共同宣言を発表しましたのでお知らせいたします。



株式会社フォーバル 代表取締役社長 中島将典、当別町 町長 後藤正洋 様

開催の背景

当別町では、北海道医療大学の移転を、人口・消費の減少への対応にとどまらない、地域が自ら仕事・人材・知見を生み出す地域へ転換する契機と捉えています。今回のフォーラムは、大学移転が投げかける「町が住む場所・働く場所・挑戦する場所として選ばれ続けられるか」という問いに対し、行政・企業・大学・学生がそれぞれの立場から議論を重ね、その結論として連携協定の締結・共同宣言に至る構成で企画されました。フォーラムでは、当別町長による課題提起、フォーバル代表取締役社長 中島 将典による構想提案、大学生による調査発表、有識者による知見の共有を経て、地域企業を交えたパネルディスカッションを実施しました。その結論として、フォーバルと当別町は「持続可能なまちづくりに関する連携協定」を締結し、地域企業を継続的に支援する「企業版医療産業」「企業ドクター」の創出を目指す共同宣言を発表しました。

地域共創フォーラムの概要

名称：当別Mirai Fes特別セッション
「まちの未来を診て、育てる」地域共創フォーラム
～若者・企業・大学とつくる 持続可能な当別町～

日時：2026年10月10日（土）13:00～14:50
会場：北海道医療大学 当別キャンパス 中央講義棟
詳細はこちら：<https://mira-fes.com/vision/2026/theme-61-1/>



登壇者：当別町 町長

皇學館大學 特別教授

当別町商工会 会長／有限会社下段モータース 代表取締役社長

北海道商工会青年部連合会 会長／大栄建工株式会社 代表取締役

北星学園大学 経済学部経済法学科 足立清人ゼミ

株式会社フォーバル 代表取締役社長

後藤正洋 様

新田均 様

下段聡 様

山田直也 様

村田吏 様、及川雅治 様

中島將典

■プログラム構成

- ・第一部 当別町の課題共有 (登壇：後藤 正洋 様)
- ・第二部 フォーバルからの提案 (登壇：中島 將典)
- ・第三部 大学生からの意見発表 (登壇：村田吏 様 及川雅治 様)
- ・第四部 産官学連携と伴走支援 (登壇：新田 均 様)
- ・第五部 パネルディスカッション (登壇：後藤 正洋 様／新田 均 様／下段 聡 様／山田 直也 様／中島 將典)
- ・株式会社フォーバル×当別町 連携協定締結式 (登壇：後藤 正洋 様／中島 將典)
- ・株式会社フォーバル×当別町 共同宣言 (登壇：後藤 正洋 様／中島 將典)

■プログラムの詳細



第一部 当別町の課題共有

当別町長 後藤正洋様が登壇。北海道バレー構想・副首都構想を見据え、食料・エネルギー・人材・防災の機能を担う戦略拠点としての当別町の姿と、それを支える地域産業・雇用の課題を提示しました。



第二部 フォーバルからの提案

フォーバル代表取締役社長 中島將典が登壇。DX・GX・地方創生・少子化を基盤にF-Japan構想を提案し、当別での実装案として「企業版医療産業」と「企業ドクター」の創出、DXの地産地消を示しました。



第三部 大学生からの意見発表

北星学園大学 経済学部経済法学科 足立清人ゼミの皆様が登壇。約170件の就職意向アンケートや企業の採用課題分析など学生視点の調査結果と企業ドクター体験談について発表しました。



第四部 産官学連携と伴走支援

皇學館大學 新田均様が登壇。学生が地域の実課題を学ぶ高等教育の役割や、行政・企業・大学が知見を共有する連携のあり方、伴走支援を地域内で循環させる仕組みについて知見を共有しました。



第五部 パネルディスカッション

新田均様・中島將典・後藤正洋様・下段聡様・山田直也様が登壇。地域企業が直面する採用・育成・DXの課題を出発点に、若者が地域企業とともに成長できる仕組みと役割分担を議論しました。



株式会社フォーバル×当別町 連携協定締結式

地域の諸課題に迅速かつ適切に対応し、活力ある個性豊かな地域社会の形成と発展及び町民サービスのより一層の向上を図ることを目的とした連携協定の締結式を行いました。

株式会社フォーバル×当別町 共同宣言

協定で約束した内容を、持続可能な地域経営への共同決意として表明しました。

当別町 町長 後藤 正洋 様 コメント

このたび株式会社フォーバル様と「持続可能なまちづくりに関する連携協定」を締結するとともに、地域の未来に向けた共同宣言を発表できたことを大変嬉しく、また心強く思っております。若者の流出と地域経済の縮小、そして大学の移転という転換点を迎える今、私たちは大きな覚悟を持って未来に臨まなければなりません。株式会社フォーバル様が持つ、企業支援をはじめ、企業ドクター（次世代経営コンサルタント）といった人材育成、DXGX推進などの取り組みは、本町の課題解決、そして、町の発展を力強く加速させてくれるものと確信しております。

フォーバル様という心強いパートナーを迎え、「商工会」・「町内企業」・「町民」の皆様とがっちりスクラムを組み、北海道の未来を支える地域モデルの具体策を形にしていきたいと思います。

株式会社フォーバル 代表取締役社長 中島将典 コメント

このたび当別町様と「持続可能なまちづくりに関する連携協定」を締結するとともに、地域の未来に向けた共同宣言を発表できたことを大変嬉しく思います。フォーバルは、本協定および共同宣言のもと、企業ドクターの育成や企業ドクターキャンプの実施、人材育成、DX・GXの推進などを通じて、地域企業と人材がともに成長する仕組みづくりに取り組んでまいります。自治体、民間企業、教育機関、金融機関をはじめとする多様な主体との共創を通じて、当別町が自ら仕事・人材・知見を生み出す持続可能な地域モデルとなるよう、具体的な成果の創出に貢献してまいります。

株式会社フォーバルについて

株式会社フォーバル（東証スタンダード：8275）は、中小・小規模企業向けの伴走コンサルティングを主力事業とし、「情報通信」「海外」「環境」「人材・教育」「起業・事業承継」の5分野で経営支援サービスを展開しています。独自の「企業ドクター（次世代経営コンサルタント）」モデルを通じて、経営課題の可視化から改善提案、実行支援までを一気通貫で提供し、ESG経営、人的資本経営、DX/GX推進など企業価値向上に資する高付加価値支援を行っています。

また、地方創生戦略「F-Japan構想」のもと、自治体、民間企業、教育機関、金融機関との連携による地域共創モデルの構築および横展開を推進しています。

■会社概要

社名：株式会社フォーバル

代表：代表取締役社長 中島 将典

設立：1980年（昭和55年）9月18日

所在地：東京都渋谷区神宮前5丁目52番2号青山オーバルビル14階

URL：<https://www.forval.co.jp>

【本件に関する報道関係のお問合せ先】

フォーバルPR事務局：forval_pr@vectorinc.co.jp